

第2回 出雲圏域県管理河川に関する減災対策協議会 議事概要

1. 日 時 : 平成30年3月19日(月) 15:30~16:30

2. 場 所 : 出雲市役所 3階 庁議室

3. 出 席 者

(協議会委員)

出雲市 : 出雲市長

国土交通省 : 出雲河川事務所長(代理 防災情報課長)

気象庁 : 松江地方气象台長

島根県 : 出雲県土整備事務所長

(オブザーバー)

国土交通省 : 中国地方整備局河川部

島根県 : 土木部河川課

島根県 : 防災部防災危機管理課

4. 挨 拶 : 出雲県土整備事務所長

5. 経過説明

担当者会議および幹事会の報告

6. 報告

「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画について

7. 議事

「減災に向けた地域の取組方針(案)」について

8. 議事結果

減災に向けた地域の取組方針(案)について協議会構成員の賛同を頂いた。

9. 意見交換概要

【出雲市長】

(第 1 回協議会で意見を申し上げたが、) 早速、取組方針に神戸川の水位周知河川指定を掲げていただき有難く思っている。

水位周知河川の検討範囲が示されているが、その根拠を教えてください。

【河川課・事務局】

防災情報を発信する佐田支所を含め過去の浸水被害状況から検討範囲を設定している。今後、詳細に検討を進めるうえで検討範囲を広げたり限定させることは有り得る。

【出雲市長】

出雲市としては、例年、神戸川が国と県で管理区間が分かれることの解消をお願いしているところ。水位周知河川に指定されるのは良いことであるが、河川整備水準も上げていただければと思っている。

【出雲県土整備事務所長】

簡易水位計の整備に関する取組について、機器開発等を国土交通省を中心に進めておられると思うが情報があれば参考とさせて頂きたい。

【中国地方整備局】

IoT 技術を取り入れた低コストな水位計の開発が進められている。また、クラウド化でシステム経費を縮減することとしているが、丁度、本日、国や関係自治体がクラウドの共同運用を行うための協議会の発足会が行われている。

中国地方の国河川でも今年の出水期までに危機管理型水位計の整備を予定しているので、機器の仕様や発注形態についても必要な情報提供をさせていただくことは可能。

【河川課・事務局】

島根県では、平成 29 年度の補正予算で危機管理型水位計の予算を確保したところ。県内で 7 圏域の減災対策協議会が設立されているが、各圏域で 3～4 箇所程度を試行的に進めて行きたいと考えている。

具体的な設置位置等についても出雲市と情報交換をしながら進めたいと考えている。